様式第１号（第１０条関係）

２０２３年度業務実績報告書

提出日　令和６年３月１日

１．職名・氏名　教授・柴田正輝

２．学位　　学位　博士（理学）、専門分野　古生物学、授与機関　東北大学、授与年　H.３０

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 恐竜学（２）、古脊椎動物学実習（２）、実践恐竜学（２）、地球生命史学（２）、導入ゼミ（２）、福井を学ぶ（２）
②　内容・ねらい 恐竜学：恐竜をより深く知ることを目的とし、メディアに登場する有名な種類を紹介しながら生物としての恐竜を理解してもらう。 古脊椎動物学実習：福井県にしかない恐竜化石発掘現場を利用し、発見から研究までの過程を体験させる。福井県に来た学生に、福井が恐竜王国である理由を知ってもらう。 実践恐竜学：恐竜の基礎を学び、恐竜研究の基本を体験する。広く浅く知りたい学生向けとし、特に県大以外の学生を対象としている。 地球生命史学：地球誕生以来の生命進化と環境変化の関係を知ることで、現在地球上で起こっている生物の多様性の重要性を理解する。 導入ゼミ：恐竜の展示を通して興味を持った種類を調べるという作業を軸に、コミュニケーションからプレゼン、レポート作成まで学ぶ。 福井を学ぶ：１回の講義であるが、福井の恐竜について知り、愛着を持ってもらうようにしている。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、特撮などメディアに登場する恐竜や、近年話題となっている生物多様性を絶滅という観点から紹介し、生活に直結する内容を取り入れている。また、実習は、恐竜王国としてのユニークな立地を考慮し、恐竜博物館や発掘現場で行うことで、本学でしか行うことができない内容を取り入れ、福井をより深く知ってもらうことにしている。さらに、クリーニング作業やレプリカ製作など実際の研究の基礎となる内容を盛り込み、一見華麗に見える恐竜研究の地道な作業を知ってもらうようにしている。導入ゼミでは、恐竜博物館の展示を利用し、恐竜を用いてグループ活動によるコミュニケーション力の育成から大学生として必要な文献調査、プレゼン、レポート作成を学べるようにしている。
(2)その他の教育活動
内容 ①　放送大学福井学習センター　学習会　全７回 ②　兵庫県立姫路東高等学校　SSH　大学教員によるアラカルト講座 ③　かつやま恐竜スクール育成会　委員 ④　勝山高等学校　探求学習にかかるラウンドテーブルアドバイザー ⑤　戸田市立美女木小学校「探究学習」質問対応

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

【０本】

② 学術論文（査読あり）

1. 長崎半島東岸長崎市北浦町の上部白亜系層序の再定義とその地質年代学的意義、宮田和周、中田健太郎、柴田正輝ほか、地質学雑誌、129 巻１号、pp.239～254（４月掲載）
2. Hatchling and early juvenile of early Sauropod from the Early Middle Jurassic Nam Phong Formation, Chiyaphum Province, Northeastern Thailand, Hanta, R., T. Sekiya, M. Shibata, W. Naksri, and R. Tucker, Paleontological Research, Vol.28, No.3, pp.222～239（８月掲載）
3. New theropod dinosaur from the Lower Cretaceous of Japan provides critical implications for the early evolution of ornithomimosaurs., Hattori, S., M.Shibata, S.Kawabe, T. Imai, H. Nishi and Y. Azuma, Scientific Reports, Vol.13, No.1, 13842（9 月掲載）
4. Dental microwear texture analysis reveals a likely dietary shift within Late Cretaceous ornithopod dinosaurs., Kubo,T., M. Kubo, M.Sakamoto, D.E.Winker, M. Shibata, S.Jin and H.You, Palaentology, 66 (6), e12681.（11 月掲載）
5. New goniopholidid specimens from the Lower Cretaceous Kitadani Formation, Obuse, S. and M. Shibata, Tetori Group. Annales de Paléontologie, 110 （令和６年２月掲載）

【５本】

③ その他論文（査読なし）

なし

【０本】

④ 学会発表等

1. 福井県勝山市の北谷層から産出した幼体の竜脚類神経弓(予察). 日本古生物学会第 173 回例会（2024 年１月、東北大学）、関谷透、柴田正輝、口頭
2. *Fukuisaurus tetoriensis* (鳥脚類恐竜)の追加標本について. 日本古生物学会第 173 回例会（2024 年１月、東北大学）、柴田正輝、口頭
3. 下部白亜系手取層群北谷層から産出した新たな鳥脚類足印. 日本古生物学会第 173 回例会（2024 年１月、東北大学）、築地祐太、柴田正輝、河部壮一郎、今井拓哉、東洋一
4. 和歌山県中部中新統田辺層群白浜層から発見 されたノコギリエイ吻軟骨化石. 日本古生物学会第 173 回例会（2024 年１月、東北大学）出山康代、柴田正輝、碇 京子、湯川弘一、ポスター発表
5. Preliminary Report on Integument Impressions of Mummified Brachylophosaurus canadensis (Ornithischia: Hadrosauridae) from the Upper Cretaceous Judith River Formation, Montana、USA. The 4th International Symposium on Asian Dinosaurs in Korea（2023 年 11 月、韓国） Jinnouchi, K., M.Shibata, T. Imai and C. Woodruff, ポスター

6 Preliminary report on sauropod remains from the Khok Kruat Formation, Nakhon Ratchasima Province, northeastern Thailand. 2023-International Symposium on Cretaceous Dinosaurs and Stratigraphy with the 3rd Jiayin Forum on Fossil Protection. (2023 年 8 月、中国黒竜江省）Sekiya, T. M. Shibata, W. Naksri, D. Chokchaloemwong, H. Yukawa and P. Jintasakul,

【６件】

⑤ その他の公表実績

1. Khorat Pterosaurs: new fossils from Khorat UNESCO Global Geopark. The 2nd Thailand Geoparks Network Symposium. (2023 年５月、ナコンラチャシマ県） Shibata, M., T. Nakamura, N. Wilailuck Naksri , D.Chokchaloemwong. 口頭

【１本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 研究分担者　基盤研究（B)、極限温暖化時に生じた森林大崩壊の解明（代表研究者　西弘嗣） 研究分担者　基礎研究（C)、恐竜における脳と頭骨の形態的共変化の解明（代表研究者　河部壮一郎） 【学外】 個人研究推進支援（ステップアップ研究支援)、ティラノサウルス類の繁栄を促した鳥脚類恐竜（植物食）の多様性の変遷の解明
(3)特許等取得
なし
(4)学会活動等
・　福井県第４次恐竜化石調査：勝山市北谷町（7 月末～９月） ・　タイ共同恐竜化石調査：ナコーン・ラチャシーマ他（１１～１２月） ・　県外恐竜化石予備調査（９月）

５．地域・社会貢献活動

⑥　放送大学福井学習センター　客員教員
⑦　コラートジオパーク：第二回タイ王国ジオパークネットワークシンポジウムにおける展示監修および公園（ナコンラチャシマ県、５月）、タイ王国シリントーン博物館会館記念講演（カラシン県、１２月）
⑧　福井県立恐竜博物館　博物館セミナー、県立大学公開講座全４回（うち１回担当）、大阪読売文化センター公開講座　全４回のうち２回
⑨　かつやま恐竜スクール育成会　講演

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

教育研究委員会
輸出管理委員会
大学案内 2025 ワーキンググループ

(3)学内行事への参加

・オープンキャンパス（新学部）（８月）、夢ナビライブ Autumn 研究室訪問（オンライン）（10月）
・入試説明会（福井南高校、7 月）

(4)その他、自発的活動など